

# SOAI

相愛ファミリア

相愛大学 [www.soai.ac.jp](http://www.soai.ac.jp)  
〒559-0033 大阪市住之江区南港中4丁目4-1  
相愛中学校・相愛高等学校 [www.soai.ed.jp](http://www.soai.ed.jp)  
〒541-0053 大阪市中央区本町4丁目1-23

2018 No. 33

# familiar

6-2 富士学級

子どもたちの記憶に残る  
先生をめざして

インタビュー・社会で活躍する卒業生

**富士 裕嗣さん**

伊丹市立稲野小学校教諭





## 子どもたちの記憶に残る先生をめざして

### 社会で活躍する卒業生

伊丹市立稲野小学校教諭  
ひろつく  
富士 裕嗣 さん

2012年3月 相愛大学  
人間発達学部  
子ども発達学科卒業  
2015年4月 伊丹市立稲野小学校勤務

伊丹市立稲野小学校の富士裕嗣先生は子どもと一緒に喜んだり、悩んだりしながら日々奮闘中。この春、初めて卒業生を送り出しました。36人の卒業生から「先生ありがとう」の言葉を贈られ目頭が熱くなったという富士先生に今の思いを伺いました。

3年間の小学校講師を経て、2015年に市立稲野小学校に赴任しました。これまで1～3年生の担任、中学年の理科を担当した経験はあるものの、6年生の担任は初めて。「まだ幼児性の残る1年生、思春期を迎える6年生と、それぞれに難しさがありますが、子どもたちと過ごす時間はとても楽しいです。でも、この1年は楽しさとともに、未熟さも痛感しました」

#### ◆感動と悔しさを味わい、レベルアップを図る

たとえば体育大会の組体操。「見通しが甘くて、うまく進行できず、不安でいっぱい毎日でした。ベテランの先生方に相談にのってもらい、的確な指示の出し方などたくさんのアドバイスをいただきました。子どもたちにも助けられました。『きょうの先生の指導、分かりやすかった』とフォローしてくれたり、本番に間に合うかと一緒に心配してくれたりするんですよ。子どもたちは本当によく見えています。教師なのに私が不甲斐ないから心配してくれたんですね。でも子どもたちに私の必死さが伝わったのはうれしかった。本番では子どもたちは技を成功させてくれました。感動もひとしおでしたが、それ以上に情けなさや悔しさがあり

ました。この苦い経験を糧に教師としてのレベルアップを図りたいと思いました」

#### ◆小学6年生の時の担任の先生への憧れが原点

そんな富士先生が教師の道へ進む原点は小学6年生の担任の先生との出会い。高校時代、子どもに関わる仕事がしたいと思ったとき、真っ先に浮かんだのがその先生のことだったとか。「よく怒られたんですよ。厳しいけれど、優しく、ユニークな先生でした。いつもおもちゃのプラスチックのバットを持っていて(笑)。先生とのやりとりがとても楽しく、心をぎゅっとつかまれましたね」。いつまでも子どもの記憶に残る教師になりたいと思い、子ども発達学科がある相愛大学へ進んだそうです。

#### ◆子どもが楽しみながら学ぶ授業を心掛け

「相愛はアットホームな雰囲気、先生と学生の距離が近くて学びやすさがありました」。そんな経験から1人ひとりの子どもとできるだけ近い距離で向き合うように心掛けているといいます。また、どのように教えたなら子どもたちの興味を引き、理解してくれるのかを考え、試行錯誤しているとも。「子



どもたちが楽しみながら学べる授業を常に考えています。そのために私自身が好奇心を持って楽しむことが大事だと思います。そうでないと、子どもたちは楽しくないはず。だから、どんなに忙しくても授業の準備は欠かせません。十分な準備をして、子どもたちが『よくわかった』という言葉や表情を見せてくれたりするとやりがいを感じます」

#### ◆後輩へのメッセージ

「この仕事は正直、大変です。時間がいくらあっても足りないほどですが、それだけやりがいもあります。ゴールが決まっていないので、とことん自分を高めていける仕事じゃないかと思っています」。そう語る富士先生、将来、先生をめざしている相愛の後輩たちへこんなメッセージを送ってくれました。「知らない世界に子どもたちは興味津々です。海外旅行に行ってみ聞を広げると、学生の間とにかくいろんな経験を積んでほしい。日々の授業に生かせることがたくさんあります。また、相愛を卒業して小学校の先生になった友だちは『終わりの会』でピアノを弾くそうです。帰り支度をしながら歌いながら準備したり、曲にあわせて急いだり。楽しそうでしょ。楽器の演奏だけでなく、バク転、ものまね…、何でもいいんです。ひとつ秀でたところを持っていると、子どもたちの心をつかんだり、距離を縮めるきっかけになりますよ」

04  
LIVE REPORT相愛大学  
人間発達学部  
発達栄養学科3年生  
たみみ  
渡邊玉見さん「食」の専門家をめざして  
学びの日々

発達栄養学科3年生の渡邊玉見さんは、とにかく小さいころから料理を作るのが大好き。早くも高校時代に調理師免許を取得し、大学でいま、管理栄養士になるための勉強に励んでいます。「食」についての学びを深める渡邊さんに聞きました。

## ひとつでも多くのことを吸収したい

管理栄養士をめざしているそうですね？  
「健康や栄養について熟知したうえで、おいしい料理が作れたらいいなと思って。管理栄養士は調理師とはまた違った専門知識が求められますから、学ぶことは山ほどあるんです。毎日が本当に学びの連続。ひとつでも多くのことを吸収しようと頑張っています」

授業だけでなく、企業と連携した商品開発プロジェクトや食育イベントにどんどん参加し、実践の場で学ぶことも多かったといいます。「何度も意見を出し合って、少しずつ形になっていく商品開発はすごくやりがいがありました。大変でしたけど、自分たちが考えたお弁当やおせち料理が発売された時の達成感は忘れられません。食育イベントでは未熟さを痛感することも。「学んだことを分かりやすく伝える難しさや質問に答えられないこともあって。もっと勉強しなきゃって思いました」

大阪医科大の厨房で調理補助のアルバイト

も経験した。大量に料理する時の効率を考えた調理方法など、現場を知るいい機会になったそうです。

## 失敗も含め、全てが学び

普段から食材の旬を知るためにいくつかのスーパーをはしごして「勉強」する。「食べ歩きも大好きです。家では料理本を見て、おいしそうと思ったら、和洋中の料理からお菓子づくりまで挑戦します。彩りのきれいな盛り付けにも気を配っています。この前、シナモンロールにチャレンジしましたが、不格好な仕上がりになってしまった。それでも楽しいといえます。「失敗も含めた経験が役立つんじゃないかなあ。料理のレパートリーが多ければ、よりよい提案ができるし、盛り付けを工夫してあっと驚かせたり、喜ばせたりできるでしょ。引き出しをいっぱい持った管理栄養士になりたいです。そして多くの人を支えられたらうれしいですね。渡邊さんの目はまっすぐ前を向いています。

●音楽学科 創作演奏専攻4年生  
佐藤 羽香さん(作曲)●人間発達学部 発達栄養学科2年生  
塩見 京香さん(作詞)子どもたちに  
歌で伝える  
いのちの尊さ

ができる』『魚は元気に泳いでいた』も入れました。作曲は音楽学科創作演奏専攻4年生の佐藤羽香さん。「子どもの声の音域なども考えました。一度聴いたら忘れられない、思わず口ずさんでしまうメロディーにしたい。出だしは元気よく、途中からじっくり聴かせる曲調に変え、心に響くよう工夫しました。2人は「この歌をきっかけに、子どもたちがいただきます、ごちそうさまを習慣にしてくれたらうれしい」と声をそろえます。

監修した創作演奏専攻の柏木玲子教授は「日ごろから共感する音楽の大切さを学生に伝えています。今回は子どもたちが覚えやすく、歌いやすい曲に仕上げるため、シンプルさにこだわりました。私も相愛の卒業生ですが、学園が一体となった取り組みは初めてで、たくさんの先生や学生、生徒と一緒に作品を作る楽しさがありました」と話しています。完成した「いただきます! ごちそうさま!」のCDは、地域や宗門の保育園、幼稚園、小学校などに配布するほか、学生の実践活動の場や地域イベントなどで活用する予定です。

学生が  
作詞作曲した「食事のことば」  
イメージソングが完成!!

♪お野菜さん、お魚さん、お肉さんにもいのちがあるよ/感謝の心でいただいて/いただきますとごちそうさま/大事なことばだよ……。

子どもたちにいのちの尊さを伝える「食事のことば」のイメージソング「いただきます! ごちそうさま!」が完成しました。相愛大の学生が作詞・作曲、歌うのは相愛中学、高校の生徒たち。誰でも口ずさめるよう明るくポップな曲調に仕上がっています。

浄土真宗本願寺派(西本願寺)が提案する「食事のことば」を相愛大学が奨励活動したのをきっかけに、発達栄養学科の学生が中心となって2017年6月にイメージソングづくりをスタートさせ、約9か月かけて制作しました。「食べるという行為の根幹は、い

のちをつないでいくために、いのちをいただくということ。それを子どもたちに分かりやすく伝えたいという学生の思いが学園全体に広がり、実現しました」と発達栄養学科の角谷勲教授は説明します。

作詞したのは発達栄養学科2年生の塩見京香さん。「いのちに感謝する心を私の弟や妹、そして多くの子どもたちに伝えたくて。普段からお野菜や魚の切り身は見ているけど、食材の本来の姿が分かりにくくなっています。だから歌詞に『野菜は芽が出て花が咲いて実

●人間発達学部 発達栄養学科長  
教授 角谷 勲●音楽学科 創作演奏専攻  
教授 柏木 玲子「食事のことば」  
イメージソング いただきます! ごちそうさま!

試聴は右のQRコードまたは下記アドレスからアクセス  
<https://youtu.be/aywMqOGz7Vo>



## 音楽への熱い思いが聴衆の心に響く

修了演奏会／卒業演奏会



1月14日、ザ・フェニックスホールにて、音楽専攻科修了演奏会が開催されました。大学卒業までの学修に加え、より専門性の高い能力や知識を身につけた若き音楽家たちの素晴らしい演奏に、客席からは惜しめない拍手が送られていました。

また、3月20日には、いずみホールにて音楽学部卒業演奏会が開催されました。選抜された14名の学生による演奏が披露され、4年間の成果を存分に発揮しました。演奏者それぞれの曲に対する熱い思いが聴衆の心に深く届き、会場は温かい空気に包まれました。音楽と真摯に向き合い着実に成長を遂げた卒業生・修了生のこれからの活躍を期待しています。

## 一味違った視点からの指導

ねりき  
練木客員教授後期特別レッスン

毎年、前期と後期の2度行われているピアノの練木繁夫客員教授を迎えてのレッスンが、今年も1月9日、10日の2日間行われました。

今回はすべてピアノソロでの受講でしたが、室内楽で受講を希望する学生も。練木教授は学生に対し、優しい口調での確かなアドバイスをされ、ピアノを単に技術的な面からではなく、多角的な見地から、その曲や作曲家に対する考えを分かり易く学生に伝えていました。最初は緊張を隠せなかった学生も、日頃の実技担当の先生とはまた違った視点からのレッスンに集中していました。



## 相愛オーケストラ第69回定期演奏会を終えて

～ベートーベン交響曲チクルス完結～

3月6日、いずみホールにて第69回相愛オーケストラ定期演奏会を行いました。春の定期演奏会\*では8年前より「ベートーベンの交響曲チクルス」をテーマに取り組み、今回の交響曲6番「田園」をもって完結しました。ベートーベン交響曲全曲演奏は相愛オーケストラにとって

大変意義深い勉強の機会となりました。

ソリストには本学卒業生のオーボエ奏者、橋爪恵梨香さんを迎え、マルティヌー／オーボエ協奏曲を演奏。橋爪さんは2016年第85回日本音楽コンクールにて第1位を獲得し、今や日本を代表するオーボエ奏者です。本番の演奏

は聴衆に感動を与える素晴らしい演奏でした。

今回の公演は、ベートーベン／「フィデリオ」序曲も含め、相愛オーケストラの演奏を楽しんでいただき大盛況に終えることができました。

※ある作曲家の作品を連続して行う演奏会



## ドイツ・フライブルグ音楽大学との国際交流

山縣朋佳さん  
右から2番目



## 1年間のフライブルグ音楽大学留学から帰国

ヴァイオリン専攻3回生の山縣朋佳さんが1年間のフライブルグ音楽大学への短期派遣留学から帰国しました。

個人レッスンや合同レッスンはもちろん、オーストリアやベルギーで開催されるセミナーにも参加したほか、門下別演奏会や留学生のみでつくる演奏会、学内オーケストラ遠征等も経験しました。また寮生活では様々な学生と交流し、ドイツやヨーロッパの自然と文化を肌で感じながら、技術面だけでなく精神面でも成長し、音楽と向き合う姿勢も学びました。

## ヴルフ客員教授のレッスン及び公開講座

ベルンハルト・ヴルフ相愛大学客員教授(フライブルグ音楽大学打楽器科教授)レッスン及び公開講座が開かれました。2度目の来校となる今回も、個人レッスン、アンサンブルレッスン、オーケストラスタディの指導に加え、「打楽器公開講座」では現代作品の解釈や演奏法などの貴重な講義と、とても精力的にご指導いただきました。

最終日の相愛打楽器アンサンブル30回記念公演では、この演奏会のために自ら作曲された「Carillon」や、ヴルフ教授の指揮によるE・ヴァレーズ／「イオニゼーション」など、興味深い演奏会となりました。

ヴルフ教授の来校によって、学生たちは多くの刺激と研究の指針を得ることができ、大変意義深く充実した時間を共有することができました。



## 音楽学部生／卒業生 受賞等一覧

- 岡本 実緒 2回生 ピアノ  
・ 第27回日本クラシック音楽コンクール全国大会 入選
- 香村 珠穂 3回生 サクソフォン  
・ 第27回日本クラシック音楽コンクール全国大会 サクソフォン部門 大学の部 第5位(1・2位なし)
- 萬代 太紀 4回生 クラリネット  
・ 第23回 KOBE 国際音楽コンクール 本選 木管楽器 C 部門 優秀賞
- 井川 華 2015年卒業生 ピアノ  
・ 第23回ブルクハルト国際音楽コンクール ピアノ部門 審査員賞  
・ 第34回愛知ピアノコンクール 大学・一般部門 銀賞  
・ 第23回 KOBE 国際音楽コンクール ピアノ C 部門 最優秀賞 / 神戸新聞社賞

昨年12月24日に第26回学内オペラ公演《コジ・ファン・トゥッテ》、今年2月23日に相愛大学特別演奏会助成公演オペラ《フィガロの結婚》を上演しました。

学内オペラ公演では、声楽の4回生と専攻科の学生、助演の教員が中心となってキャストを演じ、合唱には相愛高校音楽科学生と大学1～3回生が出演。

高校生の参加は今回初めての試みで、衣装をつけてオーケストラ伴奏による原語上演という経験に最初は緊張気味でしたが、稽古を重ねていくうちに歌って演じる喜びを全身で感じ、本番の舞台では生き生きとした表情でした。

## 情熱と質の高さの賜物

2つのオペラ公演だより



2月の公演《フィガロの結婚》は声楽専任教員3名の共同研究発表というかたちで大学特別演奏会助成公演となりました。声楽教員と卒業生によるキャストイング、在学生と卒業生によるオーケストラ、最小限に抑えたアクティングエリアでの簡素な舞台で歌唱技術と演劇的要素をもって、いかにオペラの空間を創り上げるかに挑戦しました。「また是非この再演を!」とご好評いただきまして幕を閉じました。

今回の《フィガロの結婚》は、3月末でご退任される山田健司音楽学部長がタイトルロールを演じる記念のオペラでもありました。前述の学内オペラ公演も昨年で

26回になりますが、重唱の授業しかなかった時代にオペラの授業を一から立ち上げ、オペラ公演を創り上げてこられたのは山田先生です。今では当たり前の景色となりましたが、劇場のように天井からたなびく白い緞帳など、今ある舞台設備や道具のすべては、山田先生の舞台経験やアイデアによって築かれたものであり、相愛大学での40年にわたる教鞭生活にかけられた情熱の賜物であると言えます。この舞台から国内外で活躍するたくさんの卒業生が巣立っていました。これからもこの情熱の火は絶えることなく、相愛オペラの幕は上がり続けます。





第8回 相愛寄席

聞きくらべ! 日本文化特殊講義 「芸能の中の日本伝教」

落語で忠臣蔵!!

- 相愛寄席演目
- 落語「質屋芝居」桂春團治
- 落語「蔵丁稚」桂春雨
- 落語「中村仲蔵」林家染雀
- 落語「長屋浪士(小佐田定雄作)」桂梅團治
- 講談「三村の薪割り」玉田玉秀斎
- 落語「七段目」桂春蝶

今回で8回目を迎える「相愛寄席」。12月の開催とあって、テーマは「聞きくらべ!落語で忠臣蔵!!」です。いつもならトリを務める四代目春團治(桂春之輔改め)師匠が「質屋芝居」でいきなり登場。あとは桂春雨「蔵丁稚」、林家染雀「中村仲蔵」、桂梅團治「長屋浪士(小佐田定雄作)」、玉田玉秀斎「三村の薪割り」と続き、最後は桂春蝶「七段目」。聴き応え十分の寄席を支えてくれたのが、人文学部と音楽学部の学生スタッフです。舞台設営に場内整理、音響、照明、司会、お茶子さん、それにウェルカム演奏(クラリネット四重奏)と大活躍。終わった後、相愛寄席で様々な経験をした学生たちの姿が、ひとまわり大きく見えました。



2018年2月11日、長年にわたって客員教授を勤めていただいている桂春之輔師匠が、四代目・桂春團治を襲名されました。平成30年度からは「桂春團治」が講義に登壇します。

©相原正明

人文 TOPICS



社会人基礎力実践『NPO法人HELLOlife』

人文学部のキャリア支援科目に、3回生が中心の社会人基礎力実践があります。授業の特別講師としてNPO法人HELLOlifeから講師を招き「就活に対するモヤモヤをはき出そう」とのテーマで授業が行われました。HELLOlifeは、若者が「心うごく仕事」に就くためのサポートをしているNPO法人です。授業では、特別参加の教職員と学生が互いにインタビューや、グループディスカッションをしました。これにより、就職活動のモヤモヤを解消するだけでなく、自分の強みを理解し、仕事に対する価値観に気づいたり、学生たちが将来を前向きに考える機会となりました。



大阪の歴史と文化を体感



昨年11月に毎年恒例の2回生学外研修として、大阪城と周辺エリアを探索しました。新設された商業施設、大阪大空襲の弾痕、親鸞聖人ゆかりの松、石山本願寺跡地の石碑などを巡り、海外からの観光客で賑わう天守閣を見学し、最後は大阪歴史博物館で古代から続く大阪の歴史を学びました。現代都市に今も残る史跡や跡地を実際に目にすることで、大阪の歴史と文化を体験的・主体的に感じ取る研修となりました。

理解と共感が広がる「異文化交流会」

1月25日に、人文学部学生有志が企画した「異文化交流会」が開かれました。集まった日本、中国、ベトナム、韓国、ロシア出身の学生たちが、自分のプロフィールを書いた紙片を大きな地図上の出身地(国)に貼り付け、まずは「1月1日0時0分に何をしていたか」を含めて自己紹介。続く「正月」をテーマにしたグループでのフリートークでは、賑やかなやり取り、驚きの声や笑いでたちまち和気あいあいとした雰囲気。最後のグループ発表からは、文化の違いへの関心が互いの理解や共感へとつながることを、学生一人ひとりが実感した様子が伝わってきました。



英国大学教員から直接学ぶ ディスタンス・ラーニングが充実

提携校の英国立バンガー大学およびダブリン大学トリニティカレッジ教員の講義を、インターネットを介して直接受講するディスタンス・ラーニング(遠隔学修)が実施されました。全12回の講義では英会話や英国の文化を学ぶほか、「ピーターラビットのお話」を読む等、充実した内容。学生たちはe-ラーニングで動画講義を見ながら予習をし、毎回熱心に講義にのぞみ、回を重ねるごとにリスニングや発音が上達して、先生とのやりとりも積極的になりました。15名が修了証書を授与され、「英語への苦手意識が薄れた」「もっと英語を勉強したいという意欲が湧いた」「貴重な経験でした」「英国に行きたくなった」という感想のとおり、今後の英語学修に対する大きな動機づけとなりました。





子ども発達学科では、学生の自然への感性を高める教育方法の開発に向けて組織的、継続的に取り組んでいます。南港キャンパスの豊かな自然を生かした体験活動と学びの場として、「相愛ビオトープ」と「つといの里山」(田んぼため池、山の畑、相愛の森など)を学修環境として整備し、活用しています。



新たな学修環境を開発  
**相愛子ども農園**

2017年には新たな学修環境の開発として、ゴルフ練習場跡地を開墾しました。跡地を作物が栽培できる畑の土にするため、学生がクワとスコップ、ツルハシで耕しました。さらに、大幸工

業株式会社様に100袋の「土壌改良土」をご提供いただき、畑にまき、耕運機で「ビオトープ隊」(学生有志)が耕しました。

一から手作りで開発したこの農園を「相愛子ども農園」と命名し、学生が子どもたちとつながり、ふれあいながら生き生きと学ぶ学修環境となっています。



徹底した実践教育の  
**充実と発展**  
子どもたちとの交流を  
通してより深く学ぶ

3年目を迎える

**あいあい相愛**  
おはなしのへや 実践活動

子ども発達学科と住之江区役所の協働プロジェクトとして開設された「あいあい相愛おはなしのへや」(以下「あいあい」)が、3月30日に

開設2周年記念講座を開催しました。

「あいあい」は、『おはなし』をいろいろなスタイルで体験できる『おへや』です。大学内の施設を

活用し、おはなし隊(学生と教員)が、絵本だけでなく、大型絵本、ペープサート(紙人形)、紙芝居、お話し劇、パネルシアター、エプロンシアターなど様々なスタイルで上演しています。

おはなし隊の学生たちは、毎回お話しの選定や練習、リハーサルと時間をかけて準備して本番に臨みます。それらの実践を通して主体的・対話的で深い学びを実現し、先生力の向上を図っています。



第4回糖尿病フェスタ

相愛大学 & 大阪急性期・総合医療センター  
今日から始めよう「糖尿病!ファースト!!」



11月14日の世界糖尿病デーに合わせ、大阪急性期・総合医療センターと共催で「糖尿病フェスタ」が11月25日に開催されました。今回のテーマは「糖尿病!ファースト!!」

3年生が「野菜」や「減塩」をテーマにミニ講義や紙芝居、体脂肪・骨密度測定など体験型ブースを担当、管理栄養士の卵として頑張りました。学生たちは「来られた方とのコミュニケーションを通して、管理栄養士になりたいという思いがより一層強くなり、とても良い経験でした」と充実した様子でした。

相愛大学 & 無印良品 親子しよいくフェスタ  
たのしく食の大切さを伝える

3月21日、22日、無印良品イオンモール北花田のリニューアルオープンに際して(株)良品計画と共催で「親子しよいくフェスタ」が開催されました。親子わくわく「食のサイエンス」体験!、「きみもたべものはかせ」メダルをゲット!、「さあ、みんなあつまって!かみしばい」など親子で楽しめる体験型ブースが大盛況。3年生の学生は「子どもたちは楽しみながら朝ごはんやおやつについて学ぶことができ、私たちが貴重な経験ができた。2年生の時に食育イベントを経験しているので、伝え方に工夫ができた」と、成長した一面をみせてくれました。



めざせ!  
管理  
栄養士

着実に広がる  
実践の場  
地域社会や企業に  
求められる相愛大学



相愛大学 & 懐石料理「徳」

第6弾!! 春の新作お弁当  
ただいま好評発売中!

平成29年度から「商品開発入門」が新たに開講されました。この授業では商品開発の理論や方法を学び、市場調査を行いその課題を分析し、さらに商品開発を通してその技術を修得します。講師は懐石料理「徳」代表で本学客員教授でもある鷺岡和徳氏です。1回生45名が受講し、その中から16名、3チームを編成して鷺岡氏の指導のもと、お弁当を開発。学生からは「お客様の求めるおいしさと、適切な価格のバランスにこだわる商品開発の楽しさを知りました」との声が聞かれました。

栄養男子学生が考えた  
新商品  
お弁当  
花の愛

食育ヤングリーダーフォーラム

大阪府が実施している「ヤングリーダー育成支援事業」の活動報告会である「食育ヤングリーダーフォーラム」が12月25日に本町学舎講堂で開催されました。

発達栄養学科2年生の馬野葉奈さんと谷山美穂さんが「プロジェクト型アクティビティ ちびっこ博士の食品科学実験室」の活動について報告し、大阪府知事賞の優秀賞をいただきました。



第11回食育推進キャンペーン

2月3日に毎年恒例、近隣の子どもたちを対象とした食育推進キャンペーンが開催されました。2回生が朝食、野菜、おやつをテーマに初めての食育に挑戦。グループで知恵を出し合って、子どもたちにわかりやすいツール作りを進めました。この冬はとても寒い日が続きましたが、会場は子どもたちと学生



大阪府知事賞  
優秀賞



高校

帰敬式・卒業奉告参拝式

2月26日、高校3年生が帰敬式並びに卒業奉告参拝式に臨みました。寒さの幾分緩んだ日でしたが、御影堂内の厳粛な雰囲気生徒の姿勢はおのずと改まり、正座する畳から伝わる冷気をいつしか意識しなくなる中、生徒96名がご門主様よりおかみそりを戴きました。生徒代表として、谷口彩さんが帰敬文を拝読、大土翼さんが法名を拝受しました。その場で卒業を奉告し、浄土真宗のみ教を胸にこれから生きていくことを一人ひとりが念じました。

午後からは大谷本廟に移動。明著堂ではクラスごとに代表生徒によるお焼香にあわせて合掌し、無事に卒業できた感謝とともに親鸞聖人にご奉告しました。

浄土真宗のみ教を胸に強く生きることを誓う



高校

冬の雪山で絆を深める  
高1ウィンタースクール



1月30日から2月2日まで、長野県北志賀高原においてウィンタースクールが開催されました。経験者もいれば、初めてスキーをはく生徒もいる中、全5回の講習を受けました。最初は怖がっていた生徒も徐々に力をつけ、最終日には全班リフトの一番上まで登るなど、雪山を満喫しました。初めての宿泊研修でしたが、友人関係においても絆が深まり、閉校式ではもっと滑りたかったという声がかんこえてきたことが、このウィンタースクールの成功を物語っていました。

2020東京五輪  
特別強化選手



器械体操部  
きよとう みお  
清遠 実生  
相愛高校1年生

未来の  
アスリート

めざせ！世界の頂点

1月に行われたトライアウトで2020年東京五輪特別強化選手に選ばれました。小学校1年生から体操を始めて約9年間、周りの人たちに手を差し伸べてもらったり、コーチや先生方、家族の支えがあったからこそ今回選ばれることができたのだと思います。

これからも、現状に満足するのではなく、常に自分を磨き続けて、東京オリンピックをめざして頑張っていきたいです。



世界大会  
第4位

バントワリング部  
あおの  
岩井 葵暖  
相愛高校3年生

私は、今回クロアチアで行われたバントワリング世界大会に初めて出場しました。種目はペアのため、パートナーと動きをそろえ、2人で一つになって演技をすることが要求されます。しかし、私たちのペアは、互いにこの種目が初めてで、

さらには学校が違うため、練習がすごく大変でした。大会直前のクロアチアでの練習では、全く違う環境で練習することの難しさを学びました。クロアチアの体育館はとて狭く、天井もあまり高くないため、外で練習することが多くありまし

た。私たちが普段、広くて天井が高い体育館で練習ができているありがたさを実感しました。また本番では、会場の雰囲気に驚きました。日本では感じることもない大歓声で、「本当に自分がこの大舞台に立っているんだ」と、改めて気づき

2年前に現在の先生と出会い、オリンピック出場をめざしてきました。けがなどで自分の思う演技が出来ず、あきらめかけたこともありましたが、トライアウトの結果が出た時は、今までの努力が報われたと思いました。この結果はクラブや学校の先生方、家族、そして切磋琢磨できる仲間の支えがあつてのもので、これからも正確で美しい体操を追求し、目標に向かって強い気持ちで頑張っていきたいです。

ました。結果は思い通りの演技ができず、4位と悔しかったのですが、すばらしい経験がたくさんできました。今度は悔し涙ではなく、嬉し涙を流せるように、リベンジしたいです。

中学・高校 バレーボール部



中学生は大阪府ベスト8で近畿大会に4年連続で出場しています。個人でもJOCに選出される選手を7名輩出しています。

高校生は大阪府ベスト8で近畿大会に4年で3回出場し、毎年地区選抜選手2名を出しています。

中高一貫校として、中学生高校生が同じ場所で練習し、汗を流していま

す。「仲間とともに夢へ挑戦！」を合言葉に、全国大会出場をめざしています。





大学



相愛大学卒業証書授与式、相愛大学音楽専攻科修了証書授与式が3月19日、南港ホールにて執り行われました。

多くのご来賓と保護者の方々が見守る中、音楽学部61名、人文学部66名、人間発達学部122名、音楽専攻科9名に卒業証書・修了証書が授与されました。式に臨んだ卒業生たちは、社会へと立ち立する緊張と決意が入り混じった表情をみせていました。しかしその顔つきには、成長への誇りと自信を強く感じる事ができ、これからの活躍が期待できました。



高校



3月2日、相愛高等学校卒業証書授与式が本町学舎講堂にて行われました。開式のことばに続く学園歌斉唱で、すでに感極まって涙する生徒が印象的でした。安井大悟校長による卒業証書授与では、134名の生徒一人ひとりが、凛々しく堂々とした所作で卒業証書を拝受しました。

午後からは、卒業記念パーティーがリーガロイヤルホテルにて開かれました。たくさんの保護者の方々にもご参加をいただき、各クラスのビデオレターや合唱で大変盛りあがったパーティーとなりました。



中学

3月10日に相愛中学校卒業証書授与式が本町学舎講堂において行われ、47名が中学校を巣立ちました。

卒業証書授与の際、生徒は緊張の中にも凛とした表情で卒業証書を受け取っていました。入学当時の幼い表情と比べ、大人の表情がうかがえ、一人ひとりに大きな成長が感じられました。式が進むにつれ、3年間の様々な思い出が胸の中に去来したのか涙を浮かべている生徒も多く見受けられました。

4月からは新たな生活が始まります。3年間の様々な思い出を胸に、これからも頑張っていってほしいと思います。



平成29年度  
卒業式

それぞれの思い胸に  
華やかな門出

コンクール入賞者

《 高校 》

- 糟野 優香 (高2・ピアノ)
  - 第11回ベーテン音楽コンクール 自由曲コース ピアノ部門 全国大会ベスト20賞
  - 第27回日本クラシック音楽コンクール ピアノ部門 全国大会入選
- 菅野 市子 (高2・ピアノ)
  - 第27回日本クラシック音楽コンクール ピアノ部門 全国大会入選
- 廣岡 和佳 (高2・ピアノ)
  - 第19回シヨバン国際ピアノコンクール in ASIA 高校生部門 全国大会入選
- 中塚 葵 (高2・クラリネット)
  - 第27回日本クラシック音楽コンクール クラリネット部門 全国大会入選
- 西村 未来 (高3・声楽)
  - 第27回日本クラシック音楽コンクール 声楽部門 全国大会入選
- 吉田 優月 (高3・サクソフォン)
  - 第27回日本クラシック音楽コンクール サクソフォン部門 全国大会入選
- 伴 結生 (高3・ヴァイオリン)
  - 第27回日本クラシック音楽コンクール ヴァイオリン部門 全国大会入選

《 中学 》

- 和田 涼音 (中1・ヴァイオリン)
  - 第5回あおによし音楽コンクール奈良2017 弦楽器アマチュアセレクション 第2位/斑鳩町長賞
- 松蔭 さとり (中2・ヴァイオリン)
  - 第27回日本クラシック音楽コンクール ヴァイオリン部門 全国大会入選
- 鬼塚 美瑠紅 (中3・ピアノ)
  - 全日本ジュニアクラシック音楽コンクール 全国大会出場

《 音楽教室 》

- 松岡 実咲綺 (学齢前・ヴァイオリン)
  - 日本イタリア協会第9回コンコルソムジカルテクルトゥーラ部門 幼児の部 金メダル
- 澁谷 真悠奈 (小5・ヴァイオリン)
  - 第8回クオリア音楽コンクール 小学生高学年部門 第3位
- 岡田 桜子 (小5・ピアノ)
  - 第27回グレンツェンピアノコンクール 小学校5・6年Bコース 神戸地区本選銅賞
- 岡村 有紗 (小5・ヴァイオリン)
  - 第27回日本クラシックコンクール ヴァイオリン部門 全国大会入選
- 登木 絢音 (小5・ヴァイオリン)
  - 第27回日本クラシックコンクール ヴァイオリン部門 全国大会入選
- 酒井 琴音 (中1・ピアノ)
  - 第6回 みおつくし音楽祭 ピアノ部門 銀賞/関西大阪21世紀協会賞
  - 第27回日本クラシックコンクール ピアノ部門 全国大会入選
- 首藤 主来 (中3・ヴァイオリン)
  - 第71回全日本学生音楽コンクール ヴァイオリン部門 大阪大会地区本選入選
  - 第19回関西弦楽コンクール ヴァイオリン部門 優秀賞/審査員賞
- 上村 莉子 (高2・ピアノ)
  - 第11回ベーテン音楽コンクール ハロックコース 高校生部門 全国大会第6位

2017年度 退職者一覧

大学	中学校・高等学校
教員	校長
共通教育センター	江草 浩幸 山下 昇
音楽学部	尾崎 淳 田中美帆 田中 秀尚
人間発達学部	竹内 真二 谷 恵津子 堀 祐輔
助手	大谷 礼子 小林 育美 塘 康子
植益 有貴	森川 愛美 萩山 三佐子 武田 協子 程 乙栖
	事務局
	川上 貴史 田村 和彦 永田 淳子 松山 奈央子



## 相愛学園 Event Guide

(2018年5月～12月)

(本) = 本町学舎 (南) = 南港学舎

- 特別奨学生による演奏会  
5月15日(火)・16日(水)  
(南)ホール 入場無料
- 相愛大学オープンキャンパス  
5月20日(日)  
(南)キャンパス
- 降誕会 / 親鸞聖人降誕会法要  
5月21日(月)
- 相愛ウィンドオーケストラ  
学年別発表演奏会  
5月23日(水) (南)ホール 入場無料
- 第1回相愛中学校・高等学校  
オープンスクール  
5月26日(土) (本)学舎
- 全日本吹奏楽コンクール課題曲  
講習会  
5月27日(日) (南)ホール 受講無料
- 市民仏教講座  
6月2日(土) 13:30～15:00  
(南)学生厚生館S307 受講無料
- 公開講座「ヴィオラスペース2018」  
6月4日(月) (南)ホール
- 相愛コンサート(ピアノ室内楽教員  
による)  
6月6日(水) (南)ホール 入場無料
- 定例礼拝  
6月7日(木) 13:20～14:50  
(南)ホール 自由参拝
- 公開講座  
「人文学を楽しむPart2」①  
6月9日(土)  
(本)F604教室 受講無料
- 相愛中学校・高等学校体育祭  
6月13日(水) 大阪府立体育館
- 電子オルガン challenge2018  
6月16日(土) (本)講堂
- 相愛大学オープンキャンパス  
6月17日(日) (南)キャンパス
- 2・3・4回生金管アンサンブル  
演奏会  
6月21日(木) (南)ホール
- 高3音楽科乙女コンサート  
6月23日(土) (本)講堂 入場無料
- 1回生金管アンサンブル演奏会  
6月28日(木)  
(南)ホール 入場無料

- 定例礼拝  
7月5日(木) 13:20～14:50  
(南)ホール 自由参拝
- A.フェランテ客員教授  
声楽公開レッスン  
7月6日(金) (南)ホール 聴講無料
- 市民仏教講座  
7月7日(土) 13:30～15:00  
(南)学生厚生館S307 受講無料
- サマーコンサート(音楽教室)  
7月7日(土) (本)講堂
- 公開講座  
「人文学を楽しむPart2」②  
7月14日(土)  
(本)F604教室 受講無料
- 第2回相愛中学校・高等学校  
オープンスクール  
7月21日(土) (本)学舎
- 相愛フィルハーモニア定期公演  
7月22日(日) (南)ホール
- 相愛大学オープンキャンパス  
7月22日(日) (南)キャンパス
- 相愛大学オープンキャンパス  
8月5日(日)、6日(月)、18日(土)  
(南)ホール
- 市民仏教講座  
9月1日(土) 13:30～15:00  
(南)学生厚生館S307 受講無料
- 高2音楽科乙女コンサート  
9月8日(土) (本)講堂
- 相愛大学オープンキャンパス  
9月9日(日) (南)キャンパス
- 公開講座  
「人文学を楽しむPart2」③  
9月15日(土)  
(本)F604教室 受講無料
- サクソフォン・アンサンブル演奏会  
9月15日(土) 入場無料
- 第3回相愛中学校・高等学校  
オープンスクール  
9月15日(土) (本)学舎
- 相愛コンサート(声楽教員による)  
9月20日(木)  
(南)ホール 入場無料
- 公開講座  
「ヘルシーダイエット教室」①  
9月22日(土)
- 木管アンサンブルフェスタ  
9月26日(水) (南)ホール 入場無料
- 定例礼拝  
10月4日(木) 13:20～14:50  
(南)ホール 自由参拝
- 公開講座  
「ヘルシーダイエット教室」②  
10月6日(土)
- 市民仏教講座  
10月6日(土) 13:30～15:00  
(南)学生厚生館S307 受講無料
- 大学祭  
10月13日(土)、14日(日)  
(南)キャンパス
- 相愛オーケストラ  
第70回定期演奏会  
10月19日(金)  
ザ・シンフォニーホール
- 公開講座  
「人文学を楽しむPart2」④  
10月20日(土)  
(本)F604教室 受講無料
- 第4回相愛中学校・高等学校  
オープンスクール  
10月20日(土) (本)学舎
- 管打楽器専攻成績優秀者による  
独奏演奏会  
10月23日(火)  
(南)ホール 入場無料
- トロンボーン・アンサンブル演奏会  
10月25日(木)  
(南)ホール 入場無料
- フルートオーケストラ演奏会  
10月27日(土)  
(南)ホール 入場無料
- 公開講座  
「ヘルシーダイエット教室」③  
10月27日(土)
- 第2回音楽科定期演奏会  
10月27日(土)  
(本)講堂 入場無料
- 報恩講法要  
11月1日(木) (南)ホール
- ホルン・アンサンブル演奏会  
11月1日(木) (南)ホール 入場無料
- クラリネット・アンサンブル演奏会  
11月3日(土)  
(南)ホール 入場無料
- 文化祭  
11月3日(土) (本)学舎
- 沙羅の会合同発表会  
11月4日(日) (南)ホール
- 相愛ウィンドオーケストラ  
第40回定期演奏会  
11月16日(金)  
ザ・シンフォニーホール
- 公開講座  
「ヘルシーダイエット教室」④  
11月17日(土)
- 市民仏教講座  
11月17日(土) 13:30～15:00  
(南)学生厚生館S307 受講無料

- 相愛大学オープンキャンパス  
11月18日(日) (南)キャンパス
- 作曲専攻作曲作品発表会  
11月18日(日) (南)ホール
- 電子オルガン演奏会 GIFT  
11月22日(木) (本)講堂
- 相愛寄席  
11月24日(土) (本)講堂
- トランペットアンサンブル演奏会  
11月26日(月)  
(南)ホール 入場無料
- バリ・チューバ・アンサンブル  
演奏会  
11月29日(木)  
(南)ホール 入場無料
- 打楽器アンサンブル演奏会  
12月1日(土)  
(南)ホール 入場無料
- 公開講座  
「ヘルシーダイエット教室」⑤  
12月1日(土)
- 市民仏教講座  
12月1日(土) 13:30～15:00  
(南)学生厚生館S307 受講無料
- 音楽教室ピアノ公開レッスン  
12月2日(日) (本)講堂
- 成道会法要  
12月6日(木) (南)ホール 自由参拝
- 金管アンサンブルフェスタ  
12月13日(木) (南)ホール 入場無料
- 第63回相愛大学附属音楽教室  
修了演奏会  
12月15日(土) (本)講堂
- 沙羅の会創立50周年記念  
コンサート  
12月18日(火) いずみホール
- 公開講座  
「ヘルシーダイエット教室」⑥  
12月22日(土)
- 学内オペラ公演  
12月23日(日) (南)ホール 入場無料
- 音楽学古楽実習発表会  
12月25日(火) (南)ホール 入場無料



### ● 本学教員の近刊図書 ●



『わたしたちの手塚治虫  
(別冊 NHK100分de名著)』  
釈徹宗ほか 共著  
●NHK出版(2017年12月発行)  
定価972円(税込)

卒業生・修了生対象

## 「就業力調査」実施中!!

WITH ALL  
**SOAI**  
相愛大学  
SOAI UNIVERSITY

調査に関する詳細はQR  
コードまたはホームペ  
ージより「就業力調査」の  
バナーをクリック

